リサイクルきものスーパーキモノブティックMAX

仕入れ時点で、お客さまの顔が思い浮かぶんです。

専務取締役　前田　靖子さん

「リサイクル」という言葉さえない時代から大阪を拠点にリサイクルきものを扱って60年――その歴史のなかで築きあげた業界ネットワークを活かし、全国有数ルートからの直接仕入れで驚きのロープライスを実現しているのが〈スーパーキモノブティックMAX〉です。その名の通り、一見ブティックと見紛うような全面ガラス張りの同店は、前田さんがプロデュースしたもの。近鉄百貨店や阪神百貨店にあるマックス、全国で開催される各種イベントのプロデュースも手がけ、誰もが気軽にきものを楽しめる雰囲気が注目を集めています。

そんな同店の評判を支えるのは何よりも扱うリサイクルきものの質。前田さんが「うちの縁の下の力持ち」と呼ぶ目利きの仕入れ専門スタッフが全国に足を伸ばしてセレクトしてくる逸品は、目の肥えた常連さんをも唸らせるとか。古くからの付き合いがあるからこそ「うち用にと取り置きしてくれるところも、たくさんあるんですよ」。

心斎橋本店

ところで、その前田さん自身も顧客のあいだではカリスマと呼ばれています。「特別なことをしているわけではないんです。いっしょに楽しませていただいているだけ。ただ、普段からいろんな話をしているので出物があったときなどは仕入れの段階でお客さまの顔が浮かびますね。『これはあの人にぴったりやわ』とか、『この柄はあの人に着せたいわ』……そう思って手にしたものは、結果的にお客さまにも気に入っていただくことが多いんです」。謙遜される前田さんですが、ここで買ったものをほかで褒められたり、値段以上の価値があることをあとで知ってリピーターになった人も多いよう。また、その気さくな人柄も多くの人を惹きつける魅力のひとつ。ときには離れて暮らしている娘のようであったり、気の置けない友だちであったり、あるいは頼りになるお姉さん的存在であったり。前田さんをの親しみやすさも、従来の保守的なきもの店に漂っていた独特の垣根を取り払う大きな要因になっています。だからこそ、全国の百貨店で開催される掘り出し物市などで知り合った顧客が、はるばる大阪まで足を運ばれるのでしょう。「北は北海道から、南は九州、沖縄からと、わざわざ本店まで足を運んでくださるって本当に嬉しい。そういうお客さまが口コミでうちの名前を広げてくださる。ありがたいことです」。とは言え、口コミで広がるのは、顧客満足度が高い証拠。60年の実績と信頼をバックボーンに、従来からのきものファンはもちろん、20～30代といった若い世代の心もしっかりとつかんでいるようです。

そんな前田さんに、きものの魅力、良さを尋ねると「変身できること」という答えが返ってきました。「わたし自身の経験でもあるのですが、きものを着るだけで自分も、まわりの人の見る目も、ぐんと変わります。注目されると人はキレイになれるし、自分に自信がもてるようになりますよね。そういった内面的な変化もきものの効果のひとつだと思います」。

手頃なものは日常着として、また希少価値のあるアンティークなら所有する楽しみもあるリサイクルきもの。「本店では春と秋の年2回、数万点を一堂に揃えてのセールを行うのですが、会場はまるで大人のテーマパーク。みなさん探す楽しみ、見つける喜びを満喫されていますよ」というスーパーバーゲンもまもなく。ここで、自分だけのお気に入りを見つけてはいかがでしょう。

リサイクルきものサロンマックス梅田店（阪神百貨店7F）

掘り出しきものブティック心斎橋マックス
（近鉄百貨店阿倍野店7F）